

2005 年 6 月

■ 6-02(木) 両親到着

マゴの顔見たさに?はるばる日本から両親到着。迎えに行ったフランクフルトからのICE, 失敗して喫煙車両に乗り込んでしまった。結構混んでいたの仕方なく目の前の空席に座ったが、通路の向かいの男性が絶え間なく煙を吐くので、降参してマンハイムで移動 (o;

■ 6-03(金) 幼稚園イベント

前回の次男のクラスイベントに続き、幼稚園の親参加イベント長男版。場所が遠いので初めてタクシーを利用。馬やヤギが飼われていたりする公園でゲームなどをして過ごす。かなり暑い1日だった。

■ 6-07(火) SZS 案内

両親を職場に連れて行った。大学構内を散歩。

■ 6-10(金) Klaus 家訪問, 両親帰国

Klaus 氏が両親ともども家族を招待してくれたのでお邪魔した。あいにく奥様はいらっしゃらないということだったが、近くに住む彼の娘さんが作ってくれたというパスタとクスクス, ティラミス, 本人が用意したと言っていたサラダとパン, そして電熱グリルで焼いたソーセージと肉などでもてなして頂いた。その後 Karlsruhe 駅まで両親を送ってもらって両親は日本へ帰っていった。

■ 6-12(日) 散髪と水遊び

前回からあまり日は経っていないが、前髪が気になるらしいので、午前中は子供の散髪。午後、カミさんはDBに切符を買いに出かけたので、子供を連れてケルテンハーレの公園まで歩く。こちらの公園はポンプ付の水場が多い。水路の先は砂場になっているのが普通だ。ここも同様。そこでその場にいた子供達と遊んだ。仕切り屋さんの小学校低学年程度の女の子が皆を使ってダムを築いていた。長男がしっかり皆とコミュニケーションしているのが羨ましかった。

■ 6-14(火) 家族はモナコへ出発

家族はモナコへ出発。ひとりで留守番の一週間が始まった。これで「家でゆっくり仕事ができる」とは、日本的発想か。(食事の支度は面倒だけど) ... というわけで自宅でHSPのジョイスティックインタフェースを試す。確かにHSPは音声環境で遊びやすいかも、と納得。

■ 6-15(水) データバンクミーティング

午前, Gerhard 氏, Angelika さん, Bjoern 君と4人でSZSのアドレスデータの取り扱いに関するミーティング。どうやら今まで使っていたアドレス管理ツールの融通がきかないので新しい方法を模索しているのだが, Accessを使うのも面倒だ, という事らしい。一般的なExcelのオートフィルタ利用とWordの差込印刷を提案してみた。Angelikaさんにとっては初めてのことのようだ。ちなみに差込印刷はドイツ語ではメニューを見ると Seriendruck というらしい。シリーズプリント, 連続印刷, みたいな意味か。

ここのところ右目のコンタクトレンズが調子悪い。帰りに適当な眼鏡屋さんに入り、見てもらう。取れない汚れは、タンパクだということ。毎週タンパク除去はやっているのだが、乾燥した気候のせいか付着したらしい。

そして帰りのトラム。降りる人がいないと止まらない駅で、ボタンを押している人がいるにもかかわらずオーバーラン。100 m以上進んでから気がついたらしく、いきなり止まったかと思うと運転手が降りてきて後ろまで移動、最後部のパネルを開けて操作し、トラムはバックした。その後、何事もなかったかのように運転は再開されたが、その後のアナウンスはひとつずれることになり、毎回ひとつ先の駅をアナウンスしていた。

■ 6-16(木) 別刷対応

昨日 ICCHP2004 に出した MIMIZU のペーパーについて別刷をくれ、というメールがニューヨークから来た。対応しなくては。

■ 6-18(土) インターナショナルフェストとフリマ

Marktplatz でお祭りがある、と大家さんに聞き、カールスルーエ市のホームページを見たらなるほどカールスルーエ近辺に住んでいる外国人が屋台を出したりステージに立ったりするようだ。さしずめつくばの国際つくば祭り(だったっけ)か。行ってみると、ステージでは民族衣装を着た団体やバレエ服の子供たちなどが踊り、独日協会も寿司屋もどきの屋台を出していた。暑い中、とりあえず見て楽しむ。独日協会の寿司もいただく。

ついでに Durach まで足を伸ばし、Andrea さんが行くと言っていたフリーマーケットを覗く。こちらでも盛況。子供用にオモチャを2点ほど買った。

■ 6-19(日) 洗濯と掃除

家族がモナコから帰って来るので、洗濯と掃除に精を出す。動いたらお腹がすいたので早めのお昼。パスタとビールをバルコニーで食す。ちょっと暑い。やっぱり家の中の方が涼しいな ... と後悔。

家族の乗る予定の飛行機は 19:30 着。早く着いて 54 分の ICE に乗れた場合は 9 時に着くのでその時間に駅で待つことにする。しかし降りてはこない。仕方なくもう 1 時間本を読みながらホームで時間をつぶす。10 時過ぎに到着(あいかわらず ICE は 10 分くらい遅れて着く)。それからトラムを乗り継いで帰宅は 11 時半。子供たちはボタンキュー Zzz。

■ 6-20(月) MoDe

Klaus 氏が用事で少し遅れたせいで月ミは遅めのスタート。その分、皆が早口で話すのでこちらは困った。昼休み、郵便局へ行きニューヨークからの別刷問い合わせのあったところへ返信。A4 サイズの封筒をアメリカに送って 3 ユーロかかった。夕方の MoDe は特殊教育の先生を教える先生の講演。色々な道具を使って面白い内容だった。

■ 6-21(火) DVBS

マーブルグの DVBS へ出張。ギーセンで RB に乗り換える。これがすごい運転だった。急発進と急加速、急ブレーキを繰り返す。途中、ホームが土の駅があったのには少し驚いた。さてマーブルグスードについた。DVBS を探す。普通の建物だ。しかし玄関のボタンに訪れるべきリヒター氏の名前がない。しばし悩む。思い切って点字のボタンを押したが反応なし。暑さにまいっていると中から盲の方が出てきた。言われた部屋に行くと、リヒター氏と会うことができた。

■ 6-22(水) BLISTA

エリザベート(エリザベス)教会に立ち寄り、中を楽しんでから BLISTA へ。しかし、そこで会いたいオリバー氏は全く別のオフィスに居ることが判明。Zivi ドライバーを手配しても

らってクルマで送ってもらってしまった。しかしおかげで BLISTA の校舎等は見られたのでラッキーだったかもしれない。オリバー氏とは、しばらく初等教育の話をし、MIMIZU を触ってもらった。かなり喜んでもらえたようだ。

■ 6-23(木) Infty 再び

先日鈴木先生から連絡のあった Infty の DV-2 対応プログラムを試す。結果は残念ながら NG。SheetView ウィンドウが DV 側に表示されない。試した学生さんは「前の方がよかったですねえ」と辛口コメント (-_-);

■ 6-24(金) IDOL セミナー

SZS の主要プロジェクト、IDOL のセミナーを見学。IDOL は障害者のための就職を目指した教育プログラムを作らしよう、というもので、そのプログラムの検証というわけだ。金曜・土曜の2日間行なう。ざっと覗いた感じ、その内容は日本の就職セミナーのような印象。参加者 10 名。うち車椅子の方 1 名、全盲 2 名。弱視 7 名。

■ 6-25(土) 水遊び

街へ出ようか湖に行こうか悩んだが、子供の水着が幼稚園におきっぱなしということに気づいて近くの公園で水遊びということに落ち着いた。それにしても暑い。

■ 6-26(日) コンサート

独日協会の知り合いから誘われて BadHarrenalb の Kurhaus で行なわれるコンサートへ出かけた。1 時間ほど、ギター、ピアノ、歌の 3 人で行なわれるコンサートを楽しむ。子供はよくもったと思う。この会場に行くのに「バス」を使ったが、LinienTaxi と呼ばれる普通のワゴンが来たのにはびっくり。日曜は小さい車を走らせるとのことだが、途中でいっぱいになったらどうするんだろう ...

乗り継ぎの Ettlingen で蒸気機関車と遭遇。子供はとても喜んだが、次男は音の大きさにちょっと怯え気味。

夕方、コンサート打ち上げも兼ねたグリルを独日協会メンバーで催すとのことで出かけた。

2005 年 7 月

■ 7-03(日) Bretten

トラムで 1 時間ほどかかる Bretten という街でお祭りがあったので行ってみた。Bretten へは ODISSA 訪問時に一回訪れている。その時にこのお祭りのことを Michael 氏が教えてくれた。祭りの期間中、町中は古い装いになる。騎士や馬などのパレードも。パレード好きは国民性だと思う。しかしビール屋台で何回言っても「Radler」が通じなかったのがショックだった。しまいにかウンターで飲んでいたお客さんが通訳してくれた。どうも d の発音が悪かったらしいと反省。

■ 7-04(月) Schlingensiepen 教授

Wuppertal 大学の Schlingensiepen 教授が SZS へ来た。彼は、触覚ディスプレイ TIM の開発者で、そのハードウェアの動作するところを見せてもらった。他にもタイヤ 2 つを白杖の先につけて、インラインスケートを楽しむための杖や、OCR のための本の自動めくり機などのプレゼンを聞いた。しかし彼は 1 対 1 でもほとんど英語を話さないのでコミュニケーションは少々苦勞した。MIMIZU に関しては、もう DV-2 が市販されていることに興味をもったようだった。

■ 7-05(火) DozentenTreff

夕方, SZS の活動を啓蒙する講師対象のプレゼン. 残念ながら SZS メンバー以外の参加者は 4 名のみ. 内容としては, 各自が自分の絡むプロジェクトを説明していく. Gerhard 氏からは Hiwis に対して時間的に支援が間に合っていないなど, ネガティブな部分も話されたのが印象深かった. この講演会の最後に 5 分ほど時間をもらって MIMIZU のプレゼンもさせてもらえた. しかしこちらのヒトは相変わらず話し好き. 時間が押しているのにも関わらず各発表ごとに質問が長く続くのだった.

■ 7-06(水) コンタクト

右目のコンタクトがやっぱり痛いので大学近くの Optik へ. 英語の話せる店員さんを引っ張り出して聞くと, 12 時間非装用の状態で来いとのこと. 来週火曜に予約を入れて店を後にした. 昼は Kさんとメンザでランチ. Kさんのもと指導教官, ATRの所長の中村先生も今こちらにいらしているとのこと, お会いできた. こちらで講義をしないと客員教授の肩書きを剥奪するぞ, と言われて来られたようだ.

■ 7-08(金) ツール・ド・フランス

今日は街はツール・ド・フランス一色. カールスルーエのメッセがゴールポイントで, コースは街中を走りぬける. 市内の交通もトラムや道路が通行止めになるので大学に行くのを諦めて休みをとる. 午後, 息子たちの幼稚園つながりの知人と共に自転車で観戦に出かけた. といっても街中を外れたコースまで行くだけだ. 途中, 同じ幼稚園の数家族と合流し, 15 人程度の親子入り乱れた自転車集団となる. 森を抜け, 林を抜け, 1 時間ほど走ってコースにたどりつく. しばらく待つと, スポンサーのクルマ集団がやってきた. そして投げられる帽子やペットボトル水, お菓子などを集めつつ, 選手が通るのを待つ. 「来た!」

...それは一瞬にして通り過ぎた. 文字通り自転車集団が駆け抜けていった (だけ).

そして皆は家路についた. あっけなかったなあ.

■ 7-10(日) 散髪とメッセ

午前中は子供たちの散髪 (なんだか毎月子供の髪を切っている. あまり思い切って短くしないせいか). いつものようにアンパンマンとマジレンジャーを見せて 30 分間アタマを固定する. 今日のデキは上々. でも散髪用のハサミが全く切れないので, 仕方なく文房具用のハサミを使った. せっかくだからヘンケルとかのハサミを自分用に買おうかな ... 午後は自転車で「インカちゃん (次男の友達) の家の近く公園」へ. しばし遊んだ後, カミさんが突然「メッセに行こう」と言うので, 数キロ先のメッセまで足を伸ばす. すると real というディスカウントショップ主催の子供ターゲットのお祭りをやっていた. しかし残念ながら公園モードで財布を持ってきていなかったの, ポケットに入っていた 3 ユーロでアイスクリームだけ買って帰ってきた. ま, いいサイクリングにはなった.

■ 7-11(月) MoDE 講演

4 月に予定されていたプレゼンが, 延びて今日になった. 4時から1時間半の講演ということで, 結構頑張って PPT ファイルを用意したものの, 結局お客さんは SZS 関連メンバー以外には 5 名, 合計 12 名だった (しかも音に注意して色々作ったのにゲハルト来ないし). しかし人数が少ない分, 発表が終わってから色々直接話せたので, よかったかもしれない.

■ 7-12(火) コンタクトレンズ新調

結局何度タンパク除去をしても調子がよくなりないので、右目のコンタクトレンズを新しくすることにした。昼休み、先週予約してあったメガネ屋に出向く。「ドイツ語しゃべれる?」「できれば英語がいいなぁ...」「じゃああなたは英語で話して、私はドイツ語話すわね」とにこやかに応対する中東美人系の店員さん(実際には英語をかなり話してくれたので助かった)。左目の乱視を入れるかどうか相談したが、とりあえず右目だけマンスリーのレンズを入れることにして、左目は手持ちのレンズがまだ使えるのでそれをつかう、ということにした。結局お試しマンスリーの右目と、「今日で捨てて」と言われたデイリーの左目を入れて店をあとにする。この右目の数値で OK なら 2, 3 週間後に 6ヶ月分を購入するというプロセスで、今日は何も支払わなくて OK。なかなかドイツにしては良いサービスじゃないかと感心。更に外したメガネ用のケースまでサービスしてくれて、DB と同様「メガネ屋のサービス」の印象は悪くないものになった。しかし、大変だったのはその夜。デイリーの左目が外せないのだ。どうにも密着しすぎていて、普通ならつまんで剥がす感じに取れるのだが、つるつる滑ってつかめない。目薬を何度か挿して、ようやく取れたときにはもう充血状態。ちょっとデイリーレンズの便利さと装用感の良さに傾倒しかけたのだが、「やっぱデイリーはやめよう」という結論になった。

■ 7-15(金) 将軍ランチ

この日は子供たちの幼稚園が先生達の慰安旅行のため休み。そこでカールスルーエ市内で待ち合わせて、日本食レストラン「将軍」でランチをすることにした。久々の寿司を堪能して子供達は大喜び。こちらでも日本語の通じるオーダーは楽...

■ 7-16(土) フリマへ

カミさんが大のフリマ好きのため、自宅近くで開かれたフリマへ足を運ぶ。気温は 35 度くらい。こんな暑いのにみんなよく出店するなぁ... あまりの暑さに午後は昼寝でぐったり。

■ 7-17(日) 湖水浴

お弁当を用意し、フェルマゼーまで自転車で出かけて湖水浴。連日の暑さのせいで結構人がいた。家族連れも多かった。

■ 7-18(月) 鈴木先生来訪

九大の鈴木先生が午前中 SZS へ。Infty の Dotview 出力を検証する。しかしタイミングが悪いことに、SZS のオフィスはここ数日、15 年ぶりの壁の塗り替え工事中。いつもお茶を出すラウンジは、図書室の本であふれかえっているし、学生部屋にはスタッフがいるし、あまりお客さんを出迎える雰囲気ではない。ちなみに恒例の月曜ミーティングもこの日は Klaus 氏の個室で行なわれた。この日の夜、多分最後になるだろうということで、カミさんは独日協会のコア(合唱)へ参加。借りていた本を返すのが主な目的だったはずが、案の定お別れ飲み会に発展したらしい。

■ 7-19(火) 最後? の散髪

学食は夏休みになってメニューが乏しくなってきた。この日はほぼ 1 日英文作成に時間を費やす。夕方、予約していたいつもの美容院へ行く。多分最後になるだろうと思って、思いっきり短くしてみた。

■ 7-20(水) 戻し作業

一部分の部屋の塗装が終わったので、ミーティングルームにあった大量の本や移動していた本棚や机を戻す作業を手伝う。午前いっぱいかかってしまった。

■ 7-21(木) ruby で sndPlaySound

昨日の作業のせいで少々筋肉痛。運動不足でいかなあ ... 今日は授業ネタ用の ruby からの WIN32API 呼び出しを試す。色々検索していたら、Ruby からの OpenCV 利用なんてのも見つけた。

■ 7-22(金) スタック

ruby でハマった。MinGW 環境の SDL がよさげだったもんでシリアル通信系もそれで行こうと思ったら Win は /dev/com とか叩けないんだった。むむむ。でも Ruby/SDL 楽で便利&学生は喜びそう。夜はスロバキアからの留学生、Martin 君のお別れパーティに招かれたので参加。久しぶりに Christoff 君に会う。

■ 7-23(土) Bruchsal

独日協会メンバーお勧めの Bruchsal へ出かけてみた。S3 系の路線で 20 分。目的は城の中のオルゴール博物館。入場料は大人 4.5 ユーロ也。10 時過ぎからざっと回ると、ところどころガイドツアー専用で中に入れない展示室がある。ガラス越しに中は見えたし、最初はガイドツアーは必要ないかな、と思ったのだが、11:00 からのガイドツアーの放送が歩いている途中で聞こえたので参加してみた。これが正解。オルゴールの演奏が各所でなされる。感動したのはバイオリンの自動演奏。弓の部分はリング状のものが回転し、各弦用にリング内に立てられたバイオリン達が各々楽譜に合わせて傾いて、リングに触れるように動作する。弦を押さえる左手の役目はエアークチュエータ。かなり満足度が高かった。

■ 7-24(日) カールスルーエ城展望台

今回来てから上っていなかったカールスルーエ城の展望台に 5 年ぶりに行ってみた。Christoff 君を電話で起こして、11 時に城の前で会うことに。待っていると、彼が泊めてもらっている学生さんも一緒に来たので、皆で展望台からの眺めを楽しんだ。

■ 7-25(月) 次男が友達の誕生日パーティへ

こちらは当然仕事の平日だが、次男は幼稚園の友達の誕生日パーティへ招かれた。年齢的にこれはかなり珍しいことらしい。5～6 歳の子供達のペット化しているようでとても可愛がられている。楽しんで帰ってきたようだ。また、誕生日パーティというイベント自体がドイツではかなり重要視されているようで、招かれたことは誇りに思っているらしい。聞くところによると、「今日は子供の誕生日パーティなので」というのが仕事を早く切り上げる理由にもなるそうだ(-_-;。

■ 7-26(火) 差込印刷とバイト配列

午前中、Angelika さんに Excel からの差込印刷を教える。ドイツ語の Word だとメニュー項目とか分かりにくくてこちらも四苦八苦したが、なんとか理解してもらえたようだ。

このところ、SZS は 15 年ぶりというペンキ塗り替え作業中なので、さっさと Informatik に移動。ruby のシリアルポートへのバイト配列書き込みを試すが、なかなかうまくいかない。

■ 7-28(木) 青木先生 SZS 訪問

出張でこちらへ来られている技短の青木先生がSZSを訪問。Klaus氏と2時間ほど話した後、設備などについて説明を受けた。この日の夜は雷雨。2時頃だったか、あまりに稲妻と落雷が激しいので、熟睡していたはずの子供達も目が覚めてしまった。

■ 7-29(金) オーストラリアに原稿送信

オーストラリアの教授に依頼原稿ドラフトを送信。開封確認も受け取ったのでひと安心。

■ 7-30(土) Baden Baden

今日は2度目のバーデンバーデン。前回とは違って雨模様ではないものの、この3日間、最高気温は35度～30度～25度、と5度ずつ下がってきている。それでもカラカラ浴場の外のプールを楽しめた。2度目ということで、バスやらトラムやらの乗り換えなどに神経を使わなくていいのは楽でよかった。

■ 7-31(日) ライン川へサイクリング

自転車でライン川へ行く予定を立てていたら、幼稚園つながりの知人から電話が。偶然そちらもライン川へのお誘い、ということで夕方一緒に行くことにした。いつもと違う、森の中を抜ける涼しい道を教えてもらった。少々遠回りだが、子連れには安心な道だった。しばらくライン川でゆっくりした後、戻って知人宅にお邪魔してお茶を頂く。更に下の子が乗らなくなった自転車を次男用に貸してもらうことになった。次男はとても嬉しそう。なんといっても最近の「日本に帰りたい理由」が「自転車に乗りたいから」だったのだから。

2005年8月

■ 8-01(月) チームミーティングはしばらくなし

SZSのスタッフ3人がICCに行っており、彼らはその後も休暇に入るので、29日までミーティングはなし。また、SZSの学生部屋はペンキ塗り替えなのでこちらの居場所もなし。とっととInformatikへ移動。

■ 8-02(火) ぼちぼち荷造り

少々早いですが、昼にWALMARTでダンボール箱を買ってきて、一旦研究室の荷物をまとめてみた。なんとか3つの箱に入るようだ。あとはこれらをどうやって郵便局まで運ぶか、と重さの調整だ。こちらの国際郵便料金は5kg-10kg-20kgの区切りしかなく、12kgとかになると割高感が大きくなる。

■ 8-04(木) バックアップ作業

研究室PCのバックアップ作業を行なう。今回、メール転送をあちこちにやっていたせいで整理がちょっと面倒。外付けHDDとDVD-RAMに書き込んだが、DVD-RAMの書き込み速度が異常に遅い。UDFからFATにフォーマットしなおしてみたが、同じだ。1G書き込むのに2時間かかる。こんなもんかな。ドライバのせい？

■ 8-06(土) Colani デザイン

国際会議場のホールでColaniデザインの展示をしていたので見に行ってみた。入場料は大人5ユーロ也。日本びいきなのか、日本が彼のデザインが好きなのか、マツダや京都といったキーワードがあちこちに見られる。それにしても、実物大飛行機とか作ってしまうのはスゴい。勿論飛ぶわけではないデザインなのだが、夢があって良いなあと思った。

■ 8-08(月) 研究室荷物第一便発送

午前中に研究室の荷物をひとつパッキング、郵便局まで 800 m 運んだ。日本への郵送料は 7.3kg, 52 ユーロ也。

■ 8-09(火) フランクフルトで学生を案内

チェコの ICC に参加した学生と引率の先生がフランクフルトでストップオーバーしてくれるというので合流、半日案内した。行きに ICE の 30min. spaeter をはじめて体験。空港行きなのにいいのか？さすがドイツ。FRA から am Main までの S バーン、隣に私服の検札官が乗っていた。ちょっと驚いた。

■ 8-10(水) 次男・手足口病

昨日から次男がちょっと熱。舌や手に発疹が出てきている。元気はあるようなのだが、幼稚園は休ませていた。午後、カミさんからコール。どうやら舌以外にも口内いっぱいに発疹がある模様。水曜の午後はだいたい病院は休みなので、明日の朝予約の電話を入れることに決める。多分手足口病だろうから、特に特効薬はないのだけれど、安心料だと思って診察を受けることにした。

■ 8-11(木) 渡辺さん来る

共同研究者の渡辺さんがカールスルーエに到着。SZS と大学構内を案内し、研究内容について、今後のことなどを話す。次男は診断の結果、やはり手足口病。カミさん曰く、ドイツ語でも「手足口」だったらしい。

■ 8-12(金) 幼稚園最終日

8ヶ月間、お世話になった幼稚園も今日が最終日。なんとか復活した次男が登園できてよかった。一方長男は近くの公園に出かけるイベント日。最後に先生方にカミさんが湯呑みなどを渡して別れを告げたようだ。有難うゴザイマシタ。

■ 8-13(土) みたび Baden Baden

渡辺さんを誘って3度目のバーデンバーデン。休日ということもあってか、駅からレオポルドプラッツまでのバスは満員。と思ったら、中心街ではフリマをやっており、カラカラ浴場前には出店がわんさか出ていた。夕方は地元ブルワリーへ。マルタッシェンと小麦ビールを楽しんだ。

■ 8-14(日) 最後の？散髪

ここんとこ月イチで子供の髪を切っている。自分でもよくやると感心してしまうが、今回がドイツでの最後の散髪になるだろう。前回の散髪の後にはヘンケルのハサミを買ってあったので、初使いだ。確かに切れることは切れるが、前のハサミが切れなくなった以上に、子供たちの髪の毛が硬くなってきていることを実感した。

■ 8-19(金) 研究室荷物第二便発送

朝イチで銀行に行き、住所変更の手続きを済ませる。研究室でしばし作業した後、昼休みに研究室荷物の第二便を送る。今回は細かく測って 5kg 以内に抑えた。料金 37 ユーロ也。Exilim の起動時間が遅いのは FAT32 のせいだと判明。FAT にしたら早くなった。多分マニュアルに載ってるんだろうなこういうことは。

■ 8-21(日) 雨

この週末は天気が優れなかった。外へ出かけられず。荷造りには丁度よかったが。

■ 8-22(月) 電話解約

T-Punkt へ行き、9月2日までで解約する旨告げる。相変わらず客を待たせる仕組み。ひとつ前に

待ってたおじさんは「Wenig personen...」と担当者が少ないことに文句を言って「10年前はこんなじゃなかったんだけどな」と捨て台詞を残して去って行ってしまった。で、待ち行列トップになったのに15分待ち。「お待たせしました」は勿論、ない。

■ 8-23(火) Vollmar 教授とお別れ

ruby のシリアルプログラミング難航。デバイスをそろそろ送り返さなくてはならないのでタイムリミットは今日までか。送信バッファを使わないようにしたら出力は安定したが他の問題も出てきた。ふう。とかやってたら、Vollmar 教授が研究室に訪れた。彼は明日から休暇でポルトガルに行くそうで、お別れ挨拶をしに来てくれたというわけだ。

■ 8-24(水) 研究室荷物第三便発送

少々原稿書き作業や学会仕事などをこなした後、最後の荷物を発送。8kgの荷物を持って1km先の郵便局までヨタヨタ運ぶ。これで研究室の方は片付いた。あとは適当な時期にPCのフォーマットをするだけだ。

■ 8-26(金) ライン川

ライン川に行ってみた。スイスでは洪水の被害がすごいことになっているが、ここのもかなり増水していた。それでも引いた後のようで、川辺に立って後ろを見ると、水が上がってきた跡が草木の泥汚れから見て取れた。

■ 8-27(土) miniMAL

最後の買出しに家族で miniMAL へ。笑えたのはお土産用を買おうと思っていたマシュマロチョコがこの日に限って品切れだったこと。ドイツでは、後で買おうとすると品物がない、ということがよくある。POS なくせに在庫管理とかしてなさそうだ。

■ 8-28(意) 最後の日曜日

ドイツ最後の日曜日。1階の Oma が昼食を作ってくれた。マルタッシェン、カルトツフェルザラダ、トマテン、グリュッケペースト、などなど。午後は近くの公園へ行った。夕方、山海研 OB の S さんがご家族と来宅。昼があまりに量が多かったので、S さん一家にも手伝ってもらってしまった(w

■ 8-29(月) 最後の月曜ミーティング

最後の月曜チームミーティング(うーん当然ながら最後の**、だらけだな)。今週は31日に子供たちが15人ほどSZSに見学に来るようだ。SightCityで買ったボイスレコーダを持ってきてくれないか、と頼まれたけれど、残念ながらもう日本に送ってしまった。午後は研究室へ。もう荷物もほぼ送ってしまっているのもでネットで調べもの&原稿作成。

■ 8-30(火) お別れパーティ

6つダンボール送付。うち4つが20kgクラス。全部で432ユーロかかった。(82*4+52*2)Kronenplatzでメロンを、Marktplatzで花束を仕入れてKlaus氏の家に向かう。今日はSZSのお別れパーティを彼の家で催してくれたのだ。2番目のお嬢さんと、1歳2ヶ月のお孫さんもいらしていた。忘れないうちに用意した花入れと台をプレゼントしたら、逆に色々プレゼントを頂いてしまった。ビアマグ、ビール、Tシャツ、家族にはチョコレートと子供用のDVD。夜9時過ぎまでお邪魔してしまったが楽しい時間をすごさせてもらった。感謝感謝。

■ 8-31(水) HDD 初期化、家族出発

一通り仕事を済ませて研究室のPCを初期化。鍵をお世話になったDr.Worschに預けて、Informatik

を後にする。夜は家族が出発。FRA まで見送りに行く。大家さんがカールスルーエ中央駅までクルマで送ってくれた。長男は別れが悲しくてちょっと涙ぐんでしまったが、FRA のマックに着く頃にはハッピーミールにすっかりゴキゲンだった。

2005 年 9 月

■ 9-01(木) SZS 最終日

朝のトラムは大家さんと一緒だった。彼は自転車を持って乗り込んでいた。SZS では ICC のフィードバックミーティングに参加。解決策を見つけるというより、反省会で問題点を共有するといったところ。英語や PC リテラシの差など、日本と同じような問題がどこでもあるのだと認識。昼、皆に別れを告げ、Klaus 氏のクルマで家へ移動、自転車を返す。午後は実家とビデオチャットで家族の無事到着を確認。夕方にかけて残りのパッキングを済ませる。6 時すぎ、まだ明るいうちに洋服ゴミをリサイクルボックスに入れに行く。夜はハンバーグを焼いて、ビール片手にバルコニー。最後の晩餐、というところか。

■ 9-02(金) フランクフルトへ移動

Rheinstetten 最終日。朝食をとった後、体重計を借りて今日送付する荷物の重さを調整。最終的に 4.8kg, 9.7kg, 18.7kg に持っていく。T-DSL の解約確認の電話あり。夕方までは使いたい、と伝えたつもりだったが、その電話の後しばらくしたらモデムのランプが赤に変わっていた ... 最後までサービスの悪い会社という印象だったな。すると、1 階から呼び出し。地元のワインを饞別に下さった。とても有難い反面、重さに悩むことに。午後 2 時、大家さんと電気メーターの確認と解約の電話。そして郵便局へ行き、最後の荷物を発送。4.8kg にしたはずの荷物は、郵便局の秤では 4.90kg。ちょっとヒヤヒヤしたが、残りは 9.96kg, 19.1kg となってなんとか全てセーフ。3 時に家に戻り、2 時間ほどゆっくりして、5 時過ぎ、大家さんに駅まで送ってもらった。駅のホームでは運転免許の話になり、彼の 17 歳の時の写真付ライセンスを見せてもらった ... 若い(当然)。ICE は珍しく時刻どおり 18:00 前に到着。フランクフルトに 19 時過ぎに着き、ホテルにチェックイン。駅前なので窓を開けると凄くうるさいが、閉めると暑い。しかし閉めてもエアコンの音が大きい。夕食は駅のファストフードで済ませ、水を買ってホテルに戻る。

■ 9-03(土) ドイツよさようなら

5 時前に起き、5 時 40 分頃にチェックアウト。6 時の S9 に乗って空港へ。チェックインはスムーズに進む。パスポートコントロールはかなりいい加減。見てるのか見てないのかよく分からない。乗る予定の 9:45 発 LH 便は 10:05 発に変更されていた。実際には更に 15 分遅れ。ヒースローに着いたのは 11 時半(イギリス現地時間の 10 時半)。そこからの道のりが長かった。まずフライトコネクションセンターに行くのに、かなり混雑。セキュリティチェックが厳しい。さらにそこからターミナル 3 への移動バスが来るのを 10 分ほど待つ。バスは 5 分かかった。結局 VS のチェックインカウンターに着いたのは現地時間 11 時 40 分前。出されたボーディングパスには 11 時 45 分から搭乗と書いてある。でもゲート情報はなし。結局モニタにゲートの情報が出たのは 12 時 40 分。案の定ゲートは長蛇の列。どうやら着く機体が遅れたようだった。座席は 18A。長いフライトが始まった。機内で見たのは Aviator と Hitch。プレミアムエコノミーの乗り心地はまずまず。しかしちょっと頭痛がしてきたので、後半は寝てすごした

■ 9-04(日) 無事帰国

成田到着は 1 時間遅れて、ゲートから出たのは 10:15 だった。迎えに来てくれていた姉と合流、実家へ。家族と合流、昼食をとり、夕方、自宅へと戻った。長くて短い 9 ヶ月が終わった。

[[カールスルーエ滞在記 TOP](#)] [[Home](#)]